



桃園公園の二宮金次郎像を触る参加者

○六年、僕は国立民族学博物館で企画展「さわる文字、さわる世界」を実施した。それ以来、触文化とユニバーサル・ミュージアム（誰もが楽しめる博物館）の実践的研究が僕のライフワークとなっている。触覚は全身に分布しており、能動性と身体性の両面にお

いて、五感の中でもユニバーサルな感覚だと位置づけることができる。僕は近年、「さわる」とは「目に見えない世界を身体で探る手法」であると定義し、「さわる」広さと深さを博物館から社会に発信する活動に取り組んでいる。そんな僕の昨今の関心は、ユニバーサル・ミュージアムの理念を観光・まちづくりの分野に応用することである。

昨年十一月、僕が所属する「視覚障害者文化を育てる会」で、「『盲町』目に見えない町」は切るべからず！というイベントが行われた。晩秋の一日、五十名余の参加者が空堀のまちあるきを満喫した。このイベントで僕自身は「盲町」の波を感じた。住民が行き交う路地、商店街には独特の音、おいのみならず、人々が織りな

す空気がある。気配とは気配りとも言い換えることができる。白杖を持った触覚者の団体がわいわい、がやがや、まちを散策すれば、当然目立つ。「あの人たちは何をしに来たのか」「ぶつからずに歩けるかな」。まちが発する好奇心、思いやりが波長となって僕の身体に届いた。

波と波の相互接触（触れ合い）が観光・まちあるきを充実させるのは確かだが、その図式は梅棹忠

観光のユニバーサル化をめざして

からほり新聞

第33号
(2015.3.10)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「シ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

夫が提唱した博物館展示における「モノとの対話」に類似している。展示物の背後には、それを創り、使い、伝えてきた人間、文化が存在する。一つ一つのモノ、およびモノとモノのつながりが醸成する「目に見えない物語」をどれだけ来館者が共有できるのか。ここが展示の眼目だろう。「さわる」鑑賞法がユニバーサル・ミュージアムにとって有効であるのと同様に、観光・まちあるきでも「さわる」身体感覚を導入すれば「盲町」にアプローチできるに違いない。

まちあるきで得る情報の量では、見常者が触覚者よりも勝っている。だが、見常者が入手する視覚情報とは、じつは広くて深い「盲町」のごく表面的な部分でしかない。人・物が発する「目に見えない波」を身体でとらえる感性が、触文化の特徴である。空堀のまちあるきを通じて、僕は触文化の可能性を再認識した。

（国立民族学博物館准教授 広瀬浩二郎）

会のお知らせ

当会は寄付が主な活動資金です。この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレシートを備え付けのボックスに入れて頂くと売上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。皆様ご協力お願い致します。

モーニング200円、コーヒー・紅茶単品100円
▶問い合わせ：06-4304-2266

■桃園会館
◆モーニング喫茶▶3月29日(日)▶9:00～11:00
▶100円▶問い合わせ：06-6762-5599

■陶芸教室 工房 間(すきま)
▶1回1500円▶土代200～500円/kg▶土日祝と夜間(応相談)▶問い合わせ：080-5311-4014

■たなかやすこのおはなしサロン
▶空堀の長屋で開くおはなし会▶毎月第一土曜日▶14:00～16:00▶参加費：1000円▶問い合わせ：06-6765-5571

お買い物は空堀商店街で

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは？

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常生活を過ごしていただくため次のような活動をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞうりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階
TEL&FAX 06-6764-4002
月～金(10:30～15:00)
E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp
ホームページ: odekake-karahori.com

☆編集後記

◆指ヨガ習って来ました。痛みのある方ちよと声をかけてください。(ケラ子)

◆今回のイベントにご協力いただいた空堀の皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。(広瀬)

◆路地の魅力を発信している「全国路地サミット」が年に一回開催されています。今年七月、香川観音寺で行

われます。路地に魅入られた人たちは全国にいつばいいるんですね。(山本)

◆千日前線もホーム可動柵と段差解消ができ、車いすでも介助なしに乗降自由。(山名)

◆今年は冬が早く春が早いようです(岡田)

◆空堀では、次々に面白い人物に出会えます。(河野)

腰痛改善率 92.3% 女性専用の
腰痛専門整体院をご存知ですか？
整体院リボディ魚住 **06-6763-2677**
通常初診料込1万円→先着3名限定**3980円**
大阪市中央区玉造1-6-22-105 玉造駅2分

古典・現代邦楽など、どの分野でもお教えします

生田流 箏・三絃 九州流

講師：門脇 裕子

◆稽古日：相談 ◆月謝：5,000円
◆お問い合わせ：06-6761-6189

恐ろしい火災旋風の竜巻を経験して

〔上野福子さん 昭和二年生〕

毎年、八月十五日の終戦日が来ると、必ず思い出すことがあります。私が十六歳の時、先生の勤めで通信の道に進むことになりました。自宅は旧南区の高津八番町にあり、勤務先は旧南電話局でした。

昭和十九年十一月からは本土大空襲（東京）が始まり、大阪も昼夜を問わず警報が鳴り響き、その度に私は夜中でも、電話局に駆けつけて交換台について働きました。

昭和二十年三月十三日の夜、



昭和20年当時の上野さん
戦争中の女性の服装

大阪市は焼夷弾の大空襲を受けました。我が家にも火が付き、父母と三人でバケツの水で消そうとしましたがとても手に負えません。「御堂筋の方へ逃げろ」と父に促され母と外に出ました。が、周りは炎に包まれていて逃げ場がありません。勢いづいた炎は、アチコチで渦を巻き炎の竜巻となって襲って来るのです。その勢いは電信柱（木製）の上半分が吹き飛ばほどの凄まじさでした。そして巻き上がった物がバラバラと一杯落ちてくるの

です。とっさに持ち出した掛け布団を、防空頭巾の上からかぶり、どうにか日本橋の交差点まで逃げてその渦に巻き込まれないように、うずくまっていた。そのあたりにあった防空壕はもう既に満員で入れません。「姉ちゃん、姉ちゃん、背中が燃えている」の声に気が付くと、かぶった布団の背中あたりの綿が燃えていて、慌てて母と消しました。防空頭巾だけだったらきつと焼死していたことでしょう。

やがて警報解除となり、そこに集まっていた大勢の避難者は東に向かって誘導されました。上六まで歩き、近くの小学校に一旦集合。幸い父も遅れて合流してきましたが、父が唯一持ち出したのは、なんと古びた柱時計でした。私はというと、リュックに入れるのも良くない、と別

に吊るして持っていたのは、履くこともないハイヒールでした。そこから思いおもいに知人を頼って避難するのです。私たちは母の親戚を頼ろうと、京阪神急行の天六駅を目指して歩きました。駅に着いた時には履いていた藁草履は擦り切れて文字通り足袋はだし（足袋だけ）となりました。やっとの思いで千里山の下新田という所に辿りつき、そのお家の人と私は初対面でしたが助けてもらうことができました。

戦後結婚してからは八尾に移りましたが、ある日お雛様を買いに主人と松屋町に行った時、空堀商店街が昔の儘の姿で残っているのを見つけた。『ああ、燃えてない所もあったんやなあ』

焼野原しか覚えていない私は、暫くそこに立ち尽くしてしまいました。現在では「終戦記念日」の意味を知らない若い方が多いのですが、私達が戦争の悲惨さをしっかりと語っていかなくてはと思っています。



ケラ子の紹介日記 感謝できること

高齢者外出介助の会
事務局長 永井佳子

「教会に行くようになって何が変わりましたか？」一月二十八日中之島哲学コレージュで質問を受けました。想定外の問いでおたおたし、「すぐに怒っていたのが少しゆっくりになった」と、つまらない答え。

それからずっと自問し「何が変わっただろう？」

私は子育て時代、小学三年生だった三女のクラスが荒れていました。娘も先生が信頼できないと友達と教室を抜け出して帰って来て不満を言うしまつ。私も悩みました。

ある時信頼していた保育園の先生に出会って、娘のクラスの様子を話しました。その時の答えが「力になれなくてごめんなさい。聞くしか私にできないで」突然、なんて感

謝の足らない私だ！と「ハッ」とさせられ心の貧しさを見せられました。

今思うと困ったなど思っておられたことでしょうか。悩みは聞いたらわかりませんが解決なんてそう簡単にはありません。もの。それより出会えたことを楽しんで嬉しい話が出来たらよかったです。今とは思うのです。以前は喜べない不満ばかりの私でした。

今は、心から感謝を思うのです。こんな私を見守ってください。困ることのないようにたくさんの人との出会いで助けの手を伸べてくださっている。そんな風に思えるのです。感謝を思うだけで心が温かくなり誰にあって嬉しくなる近頃私です。



車椅子から眺めれば

街のおじさんから

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起るかも...でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

空堀地区は地下鉄谷町線と長堀鶴見緑地線に接している、市内どの方向へも交通は便利です。乗り換え経路にもエレベーターが付きました。緑地線で既設路線最初の転落防止のホーム可動柵が設置され、同時に段差隙間を無くする改良が行われ、車いすの利用者も、駅員の介助なしに自由に乗り降りできるようになりました。

健康者の人は降りる駅をいよいよ駅員に伝えて、携帯スロープでお世話になるのが、どれだけ煩わしいことか理解し難いでしょう。

国内で一番進んだバリアフリーを実現しているのは大阪市交通局なのです。そんなバリアフリー

改善が千日前線でも完成し、全駅全ドアで車いすの人でも自由に乗り降りできるようになりました。これはベビーカーやキャリアバッグを引いて乗り降りする人にも役立ちます。特に高齢の人や歩行困難な人は、少しの段差でも苦手です。元氣な人の歩行はつま先が上がるのですが、年を取るとだんだん上がらなくなり、つまずきやすくなるからです。

交通局は地下鉄全路線を改善すると言っていました。が、御堂筋線は天王寺駅と心齋橋駅だけ工事をを行い、残りの駅は怪しくなっています。全部やるように応援しましょう。 (山名勝)



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしくお願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

からほり新聞に広告を出しませんか

- ①1コマ 縦49mm×横79mm 3,000円
- ②1コマ 縦33mm×横79mm 3,000円
(2回連続で掲載の場合は5,000円)

* 原稿、データ(ロゴ等)をいただきました。こちらで作成させていただきます。

連絡: TEL・FAX 06-6764-4002

広告掲載のお願い



空堀を拠点に様々なまちづくりや環境デザインを行う松下さん。普段は空堀商店街の坂を下る直前、澤井亭を左に下ったつ

きあたりにあるRoji Room(ロジルーム)で仕事をしています。空堀に元々建っていた古民家を再生させ一階は店舗兼事務所、二階はワークショップ空間になっています。定期教室では和裁や着物リメイク教室、金接ぎ教室などのイベントが定期開催されています。古民家独特の古く味のある質感の材木が活かされ、優しさやぬくもり、落ち着いたあるロジルームは松下さんの人柄そのものの。古くから残っているものに特に魅力を感じるといふ松下さん

「古いものを大切に使うという事は、人の思いや暮らしを受け継ぐこと。それが今の暮らしを豊かにすると思うんです」とほほ笑みます。松下さんは兵庫県の川西市出身。東京農業大学で公園や庭園などの設計や空間を演出することを学ぶ造園学科を卒業。その後、ランドスケープデザイン事務所に就職し、二〇〇二年に独立。翌二〇〇三年に結婚を機会に空堀に拠点を構えました。松下さんが専門とするランドスケープはその土地の歴史的な背景や文化、商業、人、様々な環境を組み合わせるより活かしていくというもの。現在は大阪の個性ともいわれる道頓堀や大川といった水辺の魅力を活かす環境デザインにも取り組んでいます。「過去に船着き場が多くあり、そこから商業で栄えた大阪。大川や中之島、道頓堀などは川床などもできてきました。川を眺めながら遊歩道や飲食を楽しめたり、水都大阪関連だけでなく、

個々の団体がシーズンによって様々なイベントを開催しています。経済効果も高まっていますよ」とやりがいを語ります。そんな松下さんが拠点を置く空堀にも独自の魅力があるそうです。拠点を置くようになってから、昔ながらの地域の繋がりの強さ、そこから生まれる豊かな生活の魅力を再発見したという松下さん。「空堀の魅力は路地。車が入ってこないのです子供やお年寄りが安全に移動できます。その中で人々との交流があり、暮らしが近く、ほどよい距離感がある。そして、大阪城の空堀だったこの町は堀、歴史とともに暮らし受け継ぐことができる素晴らしい場所です」今後は、からほり井戸端会のような大阪に取り残されている古い空家などを町の資産として活かしていくような仕事だけでなく、自身も子育て真っ最中なため、子供を育てやすい環境づくりにも携わっていききたいそう。松下さんのご活躍が楽しみです。ね。(岡田 由佳子)

快傑!からほり人 快傑ファイル其の二十七

歴史も人も暮らしも、全て活かした都市空間設計

ランドスケープデザイナー 松下岳生さん

今回の空堀人は都市空間や造園、まちなみの魅力をより活かす専門家、ランドスケープデザイナーの松下岳生さん(41)。水都大阪パートナーズや空堀かるた、井戸端会などで空間を活かす仕事をしています。

路地のケーキ屋さん

テルツェットK 玉木 啓吾さん

お祖父さんとお祖母さんが住んでいた路地の長屋を譲り受けて、ケーキ店をオープンした玉木さん。懐かしい昭和のお家へ招待されたようなお店です。小さいときから料理人になりたかったそうで、大学を卒業してから製菓専門学校へ。作るのは低糖質が売りの

ケーキで、糖분을気にしている方への手土産に最適です。デコレーションケーキはすべてオーダーです。立体的でユニークなケーキが多いようです。大阪市中央区谷町7-6-3 06-6761-7170 <http://r.goope.jp/terzett-k>



▲97歳のバースティケーキ。おばあさんと鶴と亀が乗っています。

名物! 髭の店長さん

Logic 橋本 進さん

一目見たら忘れられないカイゼル髭のお兄さん。前輪が2輪あるちょっと珍しい自転車で通勤しています。5年ほど前にカイゼル髭になるかどうか試してみたくて伸ばし始めたそうです。あの形になったとたん剃るつもりだったのだけど、周りに「もったいない」と止められたので剃れなくなって続けているそうです。Logicの店

内は'70-80年代の古着と雑貨が所狭しと置かれています。(新品もあります)店の奥には大量のCDとLPレコードがあり、サロンスペースになっています。大阪市中央区谷町6-17-40 中島ビル2F 06-6770-5144 <http://yaplog.jp/logic-used/>



▲髭の店長橋本さん

野菜の紹介が面白い

野菜中心 山村 忠さん

「野菜中心」という店名はお名前の忠の字を分解したところからつけています。フェイスブックの写真とコメントが秀逸。(個人ページのためTADASI YAMAMURAで検索してください)とっても面白いので今後「野菜メモ」としてからほり新聞で紹介したいと思っています。

食用ほづき(三河again) ひとまづ“小分け” 何はさてをき取り取へづ“小分け” 普段だと結構「する」からねーいっちゃん安い時しかやらないよーしかも小分けしたから、お試ししたいなら今だよー (Facebookより転載)



▲食用ほづき

大阪市中央区上本町西3-3-29 06-6764-2280 (FAX専用)

からほり界隈お散歩MAP

皆様のからほり地域の情報をお知らせください！



其の29 ～見上げてごらんからほりを～

からほり散策で石畳の道を探すと、どうしても下ばかり見ている歩きがちです。今回は上を向いて歩いてみようという特集です。からほりのシンボルの木や、屋根の上の鬼瓦や、古い看板や旧町名の表示など、思いもよらない発見があります。めずらしい鬼瓦のついた古い住宅などは、どうぞ早めに空堀を歩いて記録と記憶に残してください。番外編「澤井亭の屋根の上の鍾馗様」は撮影者さんの玄関口から数メートルの範囲しか見えません。時間があまる方は探してみてください。

取材・河野いづみ
MAP作成・山本のぶゆき

★ 澤井亭の鍾馗さま



探してみてください！

★ 楠木大神



「クスノキさん」の愛称で親しまれる「楠木大神」

★ 2 いちょうの木



階段を上ったところに大きないちょうの木。空堀の高低差がわかる場所です。

★ 3 惣の草の屋根



草が生えている「惣」の屋根の上。どんな草が生えているのか上ってみてください。

★ 4 旧町名 空堀町



旧町名の住居表示です。この辺は南区南空堀町と呼ばれていたんですね。

★ 5 あべのハルカス



遠くに「あべのハルカス」 谷町筋の横断歩道より。真ん中に立ち止まらないでね。

★ 6 昔の病院



元・病院だったところです。「醫學 川村 六郎」と読めます。

★ 7 ユーモラスな換気扇



ユーモラスな大きな換気扇